

# 授業改善書

科目名	経済学入門
担当者	伊藤 孝

## 授業の概要

経済学は非常に大きな学問体系をなしていますが、この講義では、経済活動の担い手である企業を対象とした経済学、つまり企業経済学について解説しました。その際、グローバル時代の今日における日本企業の活動を理解するために、日本企業の海外進出、外国での活動が主たる講義の内容を構成しました。

## 授業の問題点

昨年度は、当初予定していた中国での日本企業の活動に、時間切れで入る事が出来ませんでした。本年度はその反省に立ち、アメリカでの活動をより絞り込んで解説することで時間を確保し、中国については、予定の半分を扱う事が出来ました。むろん、今年も当初の計画通りではなく、さらに改善が必要です。ただ、全体として、15回の授業ではカバーしきれない「盛りだくさん」の内容を予定したことにも問題があったと思えます。

## 学生の授業満足度

この講義では、学生たちに、講義内容・要点をしっかりメモをするよう奨励し、ほとんどの学生は、これによく応えていました。私語もほとんどなく、いつも熱心に解説を聞いてくれたと感じています。毎回の講義の終了後に、その日の解説内容についての質問、意見を文章で提出してもらっていますが、その記載内容も、多くの場合、かなり充実しています。学生たちの授業に取り組む姿勢は高く評価できました。

ところが、アンケートの結果を見ると、授業の満足度は3.65という評定で、かなり低く、私は少々驚いています。熱心に聞いてはいても、理解が、相当程度追いついていなかったかもしれません。出来るだけ平易に解説するよう努めましたが、用いている言葉のむつかしさ、体系性を重視した解説が、学生たちに大きな違和感を与えたかもしれません。この点は、反省させられます。

## 授業改善の課題と方策

第1に、上記の「授業の問題点」に記した諸点を踏まえて、講義内容・体系（章別構成など）について改善し、さらに絞り込みを図ります。第2に、昨年度と同様、本年度も出来るだけ平易な解説に努めましたが、さらに一段の分かりやすい解説に努めることが必要と感じています。第3に、パワーポイント、レジュメなどの改善です。学生には、できるだけメモ、ノートを多く取るように指導していますが、今年度はやや書き取る分量が多かったようです。この点も、工夫します。

## その他

--